

平成25年度 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園  
運営懇談会（第13回）議事概要

平成26年3月17日(月)  
13:30~15:30

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議事
  - (1) 2月14日から15日の記録的な大雪への対応について
  - (2) 独立行政法人改革等について
  - (3) 平成25年度事業報告について
    - ① 障害児通所支援センター「れいんぼ～」の実施状況
    - ② 就労支援事業「らかん」の開設
    - ③ 会計検査院の改善の処置要求
    - ④ 平成25年度養成・研修事業
  - (4) 平成26年度予算(案)等
  - (5) その他
    - ① 平成25年度生活環境改善関係
    - ② (福)友愛会の最近の状況
4. 閉会

【議事に対する主な質疑（○：委員、●：のぞみの園）】

- (1) 2月14日から15日の記録的な大雪への対応について
  - 通所の再開はいつからか？
  - れいんぼ～は3月3日から。その他の通所は2月27日から。
- (2) 独立行政法人改革等について
  - 中期目標管理型について3～5年の幅で選べるが、規則があるか。
  - 現行も3～5年であり、中期目標で大臣が指示するという形。
- (3) 平成25年度事業報告について
  - ① 障害児通所支援センター「れいんぼ～」の実施状況
    - 待機者は、どのくらいか。
    - 児童発達支援事業は4月で0名。放課後等デイサービス事業は4月

には4名になる。

- 放課後デイサービス事業は、養護学校の生徒が自力で通所してくるのか。
- 送迎サービス利用の場合は、主に学校に迎えに行く。
- どのようなプログラムか。
- 自閉症の支援をベースにしている。「楽しい・できた・チャレンジ」をモットーに取り組んでいる。
- 学校の対応と、れいんぼ～の連携はどうか。
- 熱心なところとは連携している。相談支援事業所が中心となって連携していることもある。
- 高崎市子ども発達支援センターとの関係で、もっとこうしてほしいという要望はあるか。
- 多くの利用者はセンターからの紹介。受け入れるだけでなく、センターとも話をしていきたい。
- 放課後デイサービス事業は利用者が多くなるが、どのくらいの期間とするのか。
- 大きな課題である。自分で決めていくこともあるが、ある程度の期限を決めたプログラムの検討が必要と考えている。

## ② 就労支援事業「らかん」の開設

- 工賃の目安は。
- 昨年度の平均額に近づきたい。
- 就労移行支援はどうするのか。
- 本体のプログラムを使う予定。本人の将来も考えた支援をしたいと考えている。
- 受入企業を確保していただきたい。商工会議所などへPRしていくように。
- 市内のスーパーの一角で障害者の作った製品を販売しているところがある。このスーパーで販売していただけないか。
- 高崎の他の施設の製品も販売することを検討している。スーパーでの販売の件も検討していきたい。

## ③ 会計検査院の改善の処置要求

- 今後どのようにするのか。
- 活用の仕方を考えている。工夫していきたいと考えている。

- 会計検査院の再指摘のないようにしていただきたい。  
指摘のところは、地域にも開放しているのか。
- 現在、地域に解放している。その他、グラウンド、体育館も利用頂いている。HPでも広報している。ただ、利用者支援が第一であると指摘されている。

④ 平成25年度 養成・研修事業

- 福祉サービスを必要とする罪を犯した知的障害者の地域生活支援についての研修については、もっと強化して、更に全国展開をしていただきたい。
- 「福祉サービスを必要とする罪を犯した知的障害者等の地域生活支援に向けてPart7」を予定している。その他の研修も開催予定。
- 支援者養成現任研修について、今後の受入人数は。
- 各コース5名程度を予定している。受入に努めたい。

(4) 平成26年度予算(案)等

- 特になし。

(5) その他

① 平成25年度生活環境改善関係

- 特になし。

② (福)友愛会の最近の状況

- のぞみの園との交流はあるか。
- のぞみの園で企画したレクリエーションに参加したり、その逆の場合もある。
- いまの状況はどうか。
- 毎週、情報交換会を行っている。最近は落ち着いている様子。

(のぞみの園より補足)

1. 児童発達支援事業について

- 関係機関と連携し、事業の効果を高めていきたい。  
学校、家庭、相談支援事業所、保育所など多方面と関係がある。医療ソーシャルワーカーも配置しており、連携していきたい。

2. らかんについて

- らかんの存在、役割を理解していただき、就労支援の成果をあげていきたい。ご指導をお願いしたい。

### 3. 研修について

- 調査・研究、養成・研修を柱として取り組む。  
高崎市を中心に、全国への展開を行っている。今後、講師の派遣も行いたいと考えている。

以上